

日本史Ⅰ

科目ナンバリング JPH-101

【Ⅲ】 選択 2単位

山下 須美礼

1. 授業の概要(ねらい)

本授業では、古代から江戸時代後期までの日本史について、地域史的視点をまじえながら概観する。適宜史料などを提示し、歴史的事象の背景や関連性に目を向け、時代への理解を深める。

2. 授業の到達目標

日本史に関する基礎的知識を身につけ、また歴史学的な視点や研究手法について理解できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①中間レポート(30%)
- ②期末試験(50%)
- ③毎回のリアクションペーパーの内容(20%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

木村茂光他編 『大学で学ぶ日本史』(2016) 吉川弘文館

5. 準備学修の内容

毎回の授業で提示するテーマについて、授業後に各自で調査や考察を行なう。その成果は、中間レポートや期末試験において問う。

6. その他履修上の注意事項

- ・レジュメが配布されることに安心せず、メモやノートをしっかりとること。
- ・興味を持った事項については、書籍を探してみるなど、自分でもさらに理解を深めてほしい。
- ・私語をしないこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の内容、進め方、評価についてのガイダンス(オンライン)
- 【第2回】 大王から天皇へ
- 【第3回】 平安遷都
- 【第4回】 武士の政権―鎌倉から室町へ―
- 【第5回】 戦国の世の中
- 【第6回】 江戸幕府の成立とその仕組み
- 【第7回】 鎖国―近世の外交体制―
- 【第8回】 前半のまとめと中間レポートについて(オンライン)
- 【第9回】 産業の発達と元禄文化
- 【第10回】 日本列島の北と南―蝦夷地と琉球
- 【第11回】 都市と農村
- 【第12回】 内憂外患の時代①
- 【第13回】 内憂外患の時代②
- 【第14回】 江戸後期の文化
- 【第15回】 後半のまとめと試験